



福井商工会議所 青年部会報

FUKUI

No. 54

Young Entrepreneurs Group of
The Fukui Chamber of Commerce and Industry

第54号 平成4年3月27日発行

発行所

福井商工会議所青年部：福井市大手3-13-1
13-1, 3-Chome, Ohte, Fukui-City, JAPAN 〒910
TEL:0776-23-8111 FAX:0776-23-8475

発行者：竹越治美
編集者：真木康至

福居



'92

基本方針

「地域におこせ、新しい風・熱い風」平成4年度の商青連の統一テーマです。

このテーマに次年度の青年部の活動方針のすべてが集約されています。

世界の政治体制の変化、(ソ連の崩壊等) 経済環境の変化(バブル経済の破綻等)、そして地球環境保全自然保護の動向等、われわれ青年部は世界の動きを敏感にとらえて行動する必要があります。

グローバルに考え、ローカリーに行動する必要があります。そしてその行動の中から、未来へ残す宝をつくることを考えなければならぬと思います。

頭脳集団かつ行動集団として青年部がありつづけるため、会員相互の交流と友情を深めること、自己研鑽と各企業体質の強化充実に努めることが是非必要です。過去十七年間の先輩たちの活動を継承し、次年度もおおきく発展させていきたいと思えます。

次に具体的な次年度の活動の重点項目をあげます。

①例会内容の充実

毎月の例会に福井商青塾を設け、人材採用、新製品開発から社会貢献まで企業をとりまく種々の課題について、市長、会頭をはじめ一流の講師等の卓話、討論会を通じて、自己の研鑽と企業体質の充実につとめたい。

②PR活動の強化

「福居」の発刊は勿論、各委員会の情報活動を対外的にマスコミに提供します。新しい試みとして会員相互のコミュニケーションをより深めるため会員情報誌の作成を行います。

③会員の親睦

家族大会、新入会員オリエンテーション等を通じて会員の親睦と家族の理解と触れ合いを大切にしていきたいと思えます。さらに山形で開催される全国大会

への積極的参加を要請します。

④研修交流事業の推進

他団体等の研修交流事業を通じて青年経済人としての素質の向上を図るとともに、ビジネスマンとして、より実務的な研修を実施し、各自・各企業発展のための研鑽の場としたい。

特に今年度は、国際交流の推進のための海外研修事業を開催したい。

⑤秋色ときめきハーランド事業の開催

県都福井市の個性ある街づくり新しい文化創造を目ざして、福井の自然、歴史、文化を生かしたイベントを展開したいと思えます。

⑥市民の広場の開催

広く一般市民より街づくりに関する意見を集め、討論の輪を広げていく場をつくり市民と行政、各団体

との橋渡しを目ざしたい。

⑦近畿ブロック運営研究会の福井大会の開催・成功

九月四日、五日開催される近プロ運営研究会を成功に結びつけるため、われわれ青年部の事業、市民の広場、ハーランド事業を同時開催することによって、青年部活動のあり方を、討議していただきたい。

「地域におこせ、新しい風、熱い風」を是非福井の地から発信してほしい。

以上もりだくさんの事業を推進する為、各委員会活動の活発化と一人一人の役割を推進してほしい。そして、会員一五〇人体制を確立していただきたい。

会員の責任ある参加と行動を要請します。

一九九二年度会長
大須賀 廣美

第11回 商工会議所 青年部

全国大会に参加して

青年部会長

竹越 治美

第十一回商工会議所青年部全国大会が十一月十五・

十六日島根県松江市の島根県民会館を主会場に開催された。

「時代を先駆ける賢明なるYEG(若き企業家集団)たらん」をスローガンに、全国より二〇〇名を超える会員が、神話、縁結びの神として有名な出雲の地へ「神在月ネットワーク」として参加した。

飛行機が不得手な私としては心中おだやかではなかったが、大坂発―出雲行の便はYS-11型機であったので、この他驚いた。

その揺れの妻さは言葉では言い表せない。ひたすら神に祈り、眠った振りをしているしかなかった。

ようやく到着し、会場に向かった時の安堵感は今も

忘れられない。

会場で、先行した永井君、そして車で参加した松村、野坂、荒木君と合流した。

今日は記念講演が最初にあり、ウシオ電機会長の牛尾治郎氏が、「グローバルな経営者とは」の演題で国際的な視野にたった話しをされた。

懇親会は会場を体育館に移して開かれた。会場前でしじみのみそ汁が配られていたが、あのおいしさは忘れられない。又会場内では台風十九号の影響で壊滅的な被害を受けた青森りんごで搾ったジュースの販売を、青森の会員達が行っており、私も一ケース協力させていだいた。

楽しいうちに懇親会も終わり、福井のつわもの達は夜の街へ繰り出し、カラオ

ケに興じた。日頃は堅い話しばかりしている坂川会員の唄の上手さには驚かされたものである。

翌日は一部の人を式典会場に残し、松江市内の散策に当てた。福井に縁のある松平家の居城「松江城」や、小泉八雲邸等歴史のある街並を歩きながら、遠く福井の街づくりに想いを馳せる一時であった。

午後はエキスカンションで、我々は出雲大社コースを選んだ。今さら縁結びでもないであろうが、有名な出雲大社に参拝することにした。そのスケールの大きさに驚かされたが、一部建築物が近代的なものに変わっていたのには残念な想いをした。日御崎によったあと島根ワイナリーに行き、ワインを賞味し出雲空港に

着いた。帰りも飛行機に乗るのかと憂うつであったが、帰路の飛行機は中型機のせいか揺れも少なく無事大阪空港におりることができた。

福井への帰りの列車の中では皆おもむろに話に花を咲かせていた。大須賀、松木両君を中心に次年度の事、そして近プロの件と話したつきない。その中で日頃あまり話す機会のない山岸君も輪の中に入り、有意義な二日間であったと思う。

今回の松江市は人口十五万と地方の小都市であるが、青年部と地元自治体、そして県内の各青年部が協力し合い、大会を立派に成功させた事は賞賛に値すると思う。拍手を送りたい。

我々も、四年度はいよいよ近畿ブロック運営研究会福井大会を主管する立場です。全員一致協力して大会を成功させようではありませんか。最後に、今回遠方の大会に参加された十一名の会員の方々ほんとうにご苦労さまでした。

株式会社 ニュー・フェイス

TEL 0776 (22) 6511(代)
〒910 福井市問屋町3丁目214
FAX 0776 (27) 4855

CM

お客様情報誌編集・企画
リーフレット制作
産業会館等でのイベント企画・設営
マーク・ロゴプランニング
イベント企画・照明・音響

TVコマーシャル
ラジオコマーシャル
パンフレット
新聞広告
会社案内
ポスター

心のネットワーク

地域活性化委員会

松木 延倫



出 発

今日の敦賀の県連フォーラムは、二月十五日一時より敦賀プラザ萬象で行われるのでみんな、それぞれ乗り合わせて行こうと私は、あらかじめ真木広報委員長から送付されて来たこの原稿用紙とともに、十一時に大須賀建設事務所集合の手筈になっていた。

じつは、前日は二時から土地家屋調査士会の拡大理事があり、芦原の美松。一泊した今朝は、仕事の関係から、そのまま芦原町役場に寄った。事務所に帰ったのは十時近く。大あわてで、何件かあった電話を処理し、個人タクシーで大須賀事務所へ。永井商青連理事を乗せた松村

近プロ委員長が、すでに事務所前で待っていた。「ゴメン、急な仕事が入ってしまっ。最低三十分はかかりそうだから、わるいけど先に行っちゃってよ」と大須賀さん。

アレ？、近プロの打ち合わせもあるから、このメンバーで行こうよ、と言いついたのは？？……と、疑問はともかく、8号線へ。「福井インターどっち」

「モッタナイ、ここなら鯖江インターで十分」などと、ひとしきり楽しい議論をしてから、結局、8号線、武生バイパスへ。

「冬なのに、こんなに晴れた敦賀湾。見ただけでも大正解」と、結果よければすべてよし。好き勝手にしゃべりまくって十二時過ぎ、敦賀市内に。

裏 腹

昼食は、永井理事推薦による、敦賀市役所横、ラーメン『一力』（いちりき）。屋台から店を持った有名なラーメン屋さんとの

「僕も、食べないようにはしてるんだが」とは言いつつ、目がウラヤマシソーな永井理事は、チャージャーメンの普通盛りである。さすがの私も、この大盛りを前にしては気の毒でトモ言えなかったが、この場を借りてあえてご忠告しておくと、永井さん、肉がイチバン太るのヨ。

「なんとなく、食い足りんなあ。今度行ったらニンニク・ラーメンにするか」すかさず松村さん、「その辺のダイエットの極意。ぜひ、お教えを」

午後後の会議に備えてか、はやくもスルドイ突っ込みである。

交 流

会場のプラザ萬象へつくと、駐車場で、ちょうど、民論商青連副会長と一緒にあった。なぜ、県連に？と、ふしぎそうな私に、

「来賓でお呼びしてあったから」と、さりげなく永井理事長。「お車がえらく汚れてますね。名神、天気でも悪かったですか」と、松村さん。観察のほうも、なかなかスルドイ。

「姫路でね、横から急に水が吹き出してきてね。雪も降ってないのにねえ」「こちらでは、融雪装置のテストがあって、晴れてても、しょっちゅう路面が濡れてますよ」

「なるほど、それですかね。いきなりでしょう。ハンドルをとられるやらでビックリしました」

親しげな会話を聞いているうち、永井理事をはじめとする商青連の、その全国レベルのおつきあいがあっ

てこそだなあと思う。

資 格

式典に入ると、いきなり会場が暗くなった。大画面ビデオのオープニングである。全国大会などではよく見かけるが、県連でビデオとは思わなかった。懇親会のビンゴで林直前会長に輝いた8mmビデオといい、敦賀さん、がんばっておるではないか。しかしながら、その後に続く挨拶がなんとかならないものかなあ。

というのも、福井では、今年、近プロ大会を引き受けている。全国大会をはじめとするこの大会でも、式典になると、挨拶がつづく。正直言って、聞いている方もたいへんである。これでは、大会の意味が半減しはしないか……。なんとか挨拶を減らすよう……。どこか工夫して……。という議論を、いま重ねている最中のせいもある。

「ミニスカートと同じで、

いっそのこと、なしにしてくれたほうが」

「それでいいのはコッチだけで、する方のカッコがつかんだろうに」

という隣同士の冗談が聞こえたか、最後に挨拶に立たれた高木市長。

「みなさん挨拶にはもう飽きたらと思うし、私もよく長いと言われますので、そこは、わきまえて話させていただきますから」

一本取られたが、「少なくとも、何の長であれ」挨拶が三分以内にできること』という講演に切りかえてしまおうと」と、冗談がいくらかでも出てきたワリには、カンジンの解決法だけが浮かんでこないのであった。

脱 帽

休憩にひきつづき、敦賀商工会議所北村会頭の講演である。テーマは、地域の活性化について。敦賀市内の景気動向、地域起こしの敦賀の例と会社での経験等をまじえての約四十分。

最後に、『金はなくても誠意と努力』、『事業の活性化は、自力でやらねば成功しない。補助金にたよっては、結局つぶれる』という、わが地域活性化委員会のためのようなお言葉をいただいでしまった。

これには、となりあわせ三村副委員長ともども、深く反省するのみ。返す冗談もでなかったのである。分科会に移る休憩になって、ロビーへ出ると、いつものまにか、大須賀副会長がみんなと歓談していた。さすがに次年度会長、遅れた分はどこかでチャンと取り戻している。

魅 力

私の出席した第二分科会は、福井商工会議所青年部が主管し、『地域間ネットワークの形成』がテーマ。講師は、武井幸久福井高等専門学校助教授である。福井人の問題点として、面白い見方もあったので、これも合わせてご紹介させていただきます。

昔は、交通手段が遅かったため、行ったら行きっぱなし。交流にまで発展しませんでした。ところが戦後は、交通手段の発達が目覚ましく、簡単に行って帰ることができるようになりました。

ここに交流が生まれましたが、福井県にかぎってみると、小浜、敦賀をはじめとする嶺南と福井、武生をはじめとする嶺北との交流がほとんどありません。これはなぜでしょうか。

「われわれ小浜人は、福井を気にしていません。京都に行けば、何でも足りる。時間的にも同じくら



い。わざわざ敦賀や福井に行かなくても」

「交流が成立するためには、魅力がどちらにも必要だと思えます。」

「私は、毎月座禅をしに小浜に行きますが、たしかに若狭の観光ひとつとっても魅力があります。」

す。観光客にとつて、福井県での第一印象は、敦賀です。敦賀のホスピタリティーが最も重要であるにもかかわらず、現状は、決してよいとは言えません。

「お寺を見に行くとか、海に行くとかね」

◎アンケート問題
新幹線・空港ほしいですか、と聞かれれば、これは誰でもほしいと言います。

「福井には魅力がないよ」

この場合、例えば、あなたは空港に毎年三万円程度の負担をしますか、というふうに関心なければ、信頼性が出てきません。

「福井には魅力がないよ」

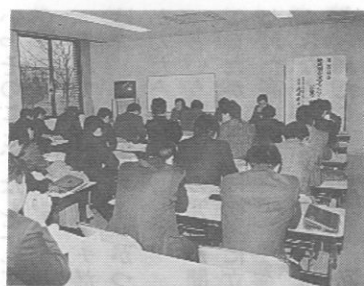
◎悪者づくりの思考
福井人は、私が悪い、自分の責任とはけつて言いません。悪かったと言えればはついて来るのに、あいつは悪い、会長が悪い、社長が悪い、市長が悪い、知事が悪いなどと言っているだけだから、人がついていきません。まとまりがなく、悪者だらけになってしまうのです。

「福井には魅力がないよ」

◎頑張ってください
他人には、とにかく、頑張ってください、と、言う

「福井には魅力がないよ」

福井人は、私が悪い、自分の責任とはけつて言いません。悪かったと言えればはついて来るのに、あいつは悪い、会長が悪い、社長が悪い、市長が悪い、知事が悪いなどと言っているだけだから、人がついていきません。まとまりがなく、悪者だらけになってしまうのです。



のです。自分がするかどうかは、まったく別の問題というところでしようか。
地域とは、経営するものです。無責任な人がいくら集まっても、なにもできません。
リゾートとは、自分たちが楽しむものです。全部を金儲けですると、人は来ません。福井県の人たちが本当に遊びだしたとき、他県の人遊びに来るのだと思います。
以上、私ではとてもまとめきれなかったが、交通ネットワークだけでなく、人と人とのネットワークがいちばん大事なんだな、これからの福井は、在宅勤務

を中心とした通信ネットワークシステム構想を持つたりするのもおもしろいかもしれないな、などと、いろいろ考えさせられた第二分科会であった。

意見

時間もあったという間にすぎ、コンパニオンが印象的だった懇親会。チアガール・女太鼓にひきつづき、前述のとおり、ビンゴで林直前会長にビデオカメラが輝き、コンパニオン嬢がプレゼントしたとかしなにか。

「帰りは事故らんように気をつけろよ」と、ヤッカミの的。冷やかしも、「今晚は、泊るべきだよ」ほとんど本気である。

一方、二次会設定の刈安さん。「どうも、こっちは値段があわなくて。結局、福井にしました」

おのおの分乗して片町についたとき、一台だけ、「インターでまちがえて、金津園まで行っちゃった」と電話が入った。これを聞

いた約二名。「シマッタ、乗る車をまちがえた」私も誘わなかったことを含め、どうも、道や車をまちがえる以前に、そろいもそろって道をふみはずしてゐるような気がしてならないのである。

冗談はさておき、県連という組織は、普通の生活の中では知りあえない人たちが知りあうことによって、心のネットワークによる福井県全体の親睦が図られ、明日の福井県を担ってゆくことができるのではないだろうか。

その意味から、今回、敦賀の地で、各青年部が分担し、それぞれのテーマのもとに分科会をもち、県全体を対象とした交流により会員同士の親睦や心のネットワークが形成されたことは、非常に意義が深いと思うのである。

「市長と語る会」

開催

去る平成三年十二月十七日、恒例の「市長と語る会」が福井駅ビルステーションホテルで行なわれました。

随行に上田開発部長、宮下商工労働部長にも、ご臨席いただきました。

今回のテーマは、青年部が永年、県都福井のランドマークとしてその開発を提起してきました、足羽三山開発の、市における計画と

市の推しすすめている各種施策の説明でありました。

また会員からは、活発な自己紹介・自己PR・青年部における活動PRなどが行われました。次期会長に決定した大須賀会員の紹介もあり、ますます盛り上がった。青年部の若さが強調されました。

市とのパイプは福井商工会議所青年部は特に太く、様々な形での提携がなされています。そんな両者の雰囲気が強感じられる恒例の市長と語る会でした。

「会頭と語る会」

開催

我々青年部会員が一年に一度、親会議所の会頭と膝を交えて語らう恒例の「会頭と語る会」が、二月二十九日ユアーズホテルにて開かれた。今年は、昨年十一月に市橋会頭が新しくご就任になられ最初にお会いする機会とあって、多数の会員の参加を見た。

当初内外情勢・親会議所の方針・青年部に対する思いをユアーズを交えて会頭がお話しされた後、会員から種々の質問が出され、一つ一つ丁寧にお答えになられた。中でも福井の街づくりに関する質問には、ご自身も常々考えておられた事をズバリと発言され、その熱い思いを述べられ、街の中心に位置する、ご自身の企業（店舗）も必要なら移

リレー随筆

帰福五年を

経過して

加藤幹男

私は事業承継のため昭和六十一年末に十五年間勤務した重工業メーカーを退職し、養母が経営する貸ビル業に転じた。福井に帰ってようやく五年が経過し、家族共々多くの貴重な体験を重ねる事が出来たが、その折々に感じた事を記述してみたい。

●身近な町作りから

当初、驚いたのは、夜七時すぎになるとメインストリートが真暗になる事で

転するもやぶさかではないという発言には、会員から万来の拍手が起こり、横にいる会長もびっくり。あまりの重大発言にわざわざ注釈をつける場面もあった。懇談の後、懇親会に移り、

あった。最近、閉店後も店舗照明を延長する商店等が増えて来たが、駅前の一等地に十数年間もシャッターが降りたまの区画が有るのは残念である。

●歴史遺産の活用を

昨年、佐佳枝神社の春岳公合祀百年祭に参列した際に拝聴した事であるが、春岳公は日本へ最初に製水器とリンゴの苗木を移入したとか。津軽では銅像も建てられ、土地の人に尊敬されているとの事。戦災と震災で多くの貴重な遺産を失った福井ではあるが、埋もれた宝を掘おこしPRする必要があると思つた。

●事業承継の税務対策

五年間で駅前の路線価は約二・五倍にも上昇したが、会頭を交えて会食となり、会員一人一人会頭のもとにお酌かたがた自分の売り込みに参上、気さくな会頭がご自身でお酌に廻るといふハプニングもあり、賑やかな宴となった。

今後ますます税務対策が事業承継の鍵となる。また駅前地区では、個人が土地保有続けるのは困難となりつつあり、商店街の歯抜け対策が必要となって来る。

●後継者に贈る言葉

「二代目は先代から受け継ぐべきものは受け継ぎ否定すべきものは否定する。その上で新しい事業を展開する」という永遠の十字架を背負っている。それを負担とと思うか、やりがいと思うかは本人の器量しだい。」

二代目も創業者たれというこの言葉を座右の銘とし、仕事上で困難にぶつかると心に中で反芻する事になっている。

会頭の外見とは違ふ、親しみのある人間性の一面に触れることができ、会員一同満足のおくひとききだったと思う。

企業訪問

㈱高間繁洋服店

高間 貞行

我が社は、昨年創業六十周年を迎えました。

皆さんは一口に注文服といっても、よくご存知じゃない方が多いと思いますので、まず注文服（オーダーメイド）についてご説明したいと思います。

このオーダーメイドという洋服は、まず最初に生地を選んで頂きます。（イージーオーダーとは違います。）次に採寸をします。ここでお客様に細かな要望を伺います。（デザイン・ディテール等。）それを裁断して、一週間程しますと「仮縫」が出来上がります。この仮縫の時に、洋服を合わせて頂きます。（ここがイージーオーダーとは違います。）ここでも又、お客様に細かな要望を伺います。（胴回りのゆとり、

腕の長さ、肩の上下等）こうしてオーダーメイドの洋服が出来上がります。

でも皆さんは、オーダーメイドの洋服というと、どうしても「高い」という感じがするかもしれませんが、でも決してそんな事はありません。

デザイン・ディテールはもちろん、今流行のダブルからコート、タキシードまで出来ます。

しかし、なんといってもオーダーメイドの一番の魅力は、世界中であなただけしか持っていない洋服ですから……。
あなただけの為に作る一着ですから……。

オーダーメイドのご説明は、この辺にして当社では、オーダーの洋服のみならず、既製服・ワイシャツまで、取り扱っておりますので、ご用命の際は当社まで！
TEL 三五〇八五三

みなさんよろしく

新入会員

プロフィール

橋 口 浩 一

S 三八年七月二日生

銚古崎

福井市西開発四一六一

電話 五三〇三一一

FAX 五三一八六六

(業種) 店舗内装業

堂 越 啓 司

S 三八年三月一日生

井上商事㈱

福井市日の出二一〇一六

電話 二二一八四七九

FAX 二一七二三八

(業種) 卸売業

山 下 諒 泰

S 三七年二月二七日生

セントラル通商㈱

福井市宝永三一

三四一四

電話 二六一五八七〇

FAX 二二一七六八九

(業種) 厨房機器販売

会員トピックス

〈会社設立〉

●大須賀 廣美

大須賀技建㈱

福井市花堂東二一六〇五

電話 三四一八八五五

(営業案内)

総合建築、不動産、

木材業

(一級建築士事務所)

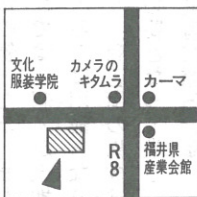
〈赤ちゃん〉

●橋 敏夫

次男誕生！悠史君

(生年月日)

平成四年一月一四日



本社
福井市花堂東2丁目605 TEL (0776) 34-8855(代)
FAX (0776) 34-8856
Kida Center TEL (0776) 34-8851
Itagaki Center TEL (0776) 34-8852
Hanando Center TEL (0776) 34-8853
自宅 TEL (0776) 34-0952



総合建設・不動産
木材・一級建築士事務所

大須賀技建株式会社